

ラーニング・マウンテン
— 学びのプランを立てよう —

中1『少年の日の思い出』

単元名「登場人物の行動の意味について自分の考えを伝え合おう」全（7）時間 教育出版

知識・技能

⑦ 行動や心情を表す語句の文脈上の意味に注意して読み、語彙を豊かにする。…(1)ウ

思考・判断・表現

① 場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉える。…(C(1)イ)
② 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする。…(C(1)オ)

主体的に学習に取り組む態度

④ 粘り強く行動や心情を表す語句の文脈上の意味に注意して読み、学習の見通しをもって自分の考えを確かなものにしようとする。

【第3ステージ（2）時間】
〈こんな学習をしてこんな力を！〉

⑥ 解説文を読み合う中で生まれた、登場人物の行動に関する問いを全体で共有したうえで、読み深めたい問いを各自選ぶ。その問いについてグループで交流する。
⑦ 交流を通して広がったり深まったりした自分の考えを確かなものにするとともに、学習を振り返る。

【この単元を通して振り返り】

・ 行動や心情を表す語句を読むとき、どのようなことに気をつけましたか。
・ 登場人物の行動の意味について自分の考えを交流するとき、どのようなことに気をつけましたか。

【第2ステージ（3）時間】
〈こんな学習をしてこんな力を！〉

③④ 自分が注目したい描写について、次の観点で解説文を書く。
・ どのような場面を取りあげた描写なのか。
・ 選んだ描写からどのような心情を捉えることができたか。
⑤ 解説文を推敲した後、互いの文章を読み合い、新たに生まれた登場人物の行動に関する問いを記録する。

スタート

【この単元に関わって知っていること・できること】
描写に基づいてわかったことや考えたことを説明する活動を通して、登場人物の相互の関係や心情の変化を捉えること。

🔦

中学校1年『少年の日の思い出』授業のポイント

単元名 登場人物の行動の意味について自分の考えを伝え合おう

本教材は、「客」の少年時代の過ちを通して、「僕」（＝少年時代の「客」）とその隣に住む「エーミール」との関係性や、「僕」の心理描写が効果的に描かれている小説です。授業では、「僕」の行動描写や心情描写から心情の変化を捉え、「僕」や「エーミール」の行動の意味について自分の考えを伝え合うことを中心に学びを深めます。

授業の核となるのは、「登場人物の行動の意味について自分の考えを伝え合う」ことです。「僕」がヤマユガを盗んだのはなぜか、「エーミール」がただ「僕」を眺めて軽蔑していただけだったのはなぜか。これらの問いに対して、根拠となる本文の描写をもとにしながら、自分の考えを伝え合うようにします。

学習者たちは、他者の考えにふれることで、自分の考えを相対化し、改めて登場人物の行動の意味について考えることができます。交流を通して、登場人物への理解を深め、自分の考えを確かなものにすることが考えられます。

1 単元で身に付けたい資質・能力

本単元では、教材文を読んで注目したい描写を選択し、描写に関する解説文を書くことで自分の考えを形成します。そして、互いの解説文を読み合った後、登場人物の行動について自分の考えを伝え合う活動を行います。これらの活動を通じて、登場人物の人物像や心情の変化、物語全体の展開を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりする能力を育成することができます。

本単元の「思考力・判断力・表現力等」の目標との関連においては、登場人物の行動の意味について自分の考えを確かにするという目的を明確にします。そのために文章を繰り返し読み、登場人物の行動の背景にある心情を検討するようにします。

2 評価規準

評価の観点	評価規準
知識・技能	・ 行動や心情を表す語句の文脈上の意味に注意して読み、語彙を豊かにしている。…(1)ウ
思考・判断・表現	・ 「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えようとしている。…C(1)イ ◎ 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。…C(1)オ
主体的に学習に取り組む態度	・ 粘り強く行動や心情を表す語句の文脈上の意味に注意して読み、学習の見通しをもって自分の考えを確かなものにしようとしている。

🚩 本単元における子どもたちのゴールイメージ

本単元では、描写に即して、登場人物の行動の意味について自分の考えを確かなものにすることを目標としています。

第1ステージでは、現在と過去の場面の構成を全体で確認し、自分が小説全体の中で、注目したい描写を探そう促します。

第2ステージでは、選んだ描写について読み取ったことを解説文にまとめます。この学習過程で、一つの描写から登場人物の行動や心情がどのように描かれ、その描写から生徒自身がどのような意味づけをしているのかを解説していきます。解説文は互いに読み合って共有し、「僕」や「エーミール」の行動の意味について自分の考えを深めます。さらに、描写を詳細に読み取っていく中で、新たに生まれた問いを記録しておきます。

第3ステージでは、記録した問いを全体で共有し、読みを深めるための問いを選びます。それぞれが選んだ問いについて、自分の考えを伝え合い、確かなものにしていきます。

🌿 描写について解説した文章例（第2ステージ）
「盗みをしたという気持ちより～僕の心を苦しめた」（教科書P257 L5）を選んだ学習者

この描写は、繕うこともできなくなってしまったヤマユガを前に、絶望する僕の心情を表した一文です。描写からわかることは二つあります。

一つめは僕のチョウへの熱情です。僕は盗みをしたうえ、チョウ（ヤマユガ）をバラバラにしたことよりも、自分が潰してしまった美しく珍しいチョウを見ているほうがつらいと思っています。何よりもチョウが大事なのです。そのため、自分がチョウを台無しにしたことに関する罪悪感が、盗みをしてしまった罪悪感を上回っています。

二つめはエーミールに対する僕の考え方です。チョウへの熱情がとても強いなら、なおさらチョウを盗まれて壊された相手の気持ちがわかるはずで、エーミールに対する罪悪感が強まると思います。しかし、この一文にはエーミールについての描写が全くありません。エーミールのことなどまるで考えていない僕の様子がこの描写からわかります。

この描写によって、物語全体における僕のチョウへの熱情が強く示され、さらにエーミールに対する負の心情の大きさがわかるようになっていきます。

☀️ ワンポイント
文章中の語句について文脈に即して考えを表した文章例（第3ステージ）
「僕はなぜチョウを盗んだのか」という問いを立てて考えをまとめた学習者

解説 「僕」と「エーミール」の「チョウ」に対する表現が使い分けられていることを確認し、自分の考えを表現している。

話し合いの中で、〇〇さんは僕が「チョウ」を「獲物」と呼んでいることに着目していました。確かに、僕にとってチョウは「捕らえる」物として表現されていますが、エーミールのチョウに対しては、「宝石」と表現しています。このことから、僕とエーミールの「チョウ」に対する扱い方の違いがわかります。宝石のように美しい収集をするエーミールへの複雑な心情が、盗むという行為に関係していると考えました。

ラーニング・マウンテンについてはこちらから



中1『少年の日の思い出』

単元名〔 〕全〔 〕時間

みんなで解決したい問い

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

3

【第3ステージ（ ）時間】
〈こんな学習をしてこんな力を！〉

ゴール

【この単元を通した振り返り】

2

【第2ステージ（ ）時間】
〈こんな学習をしてこんな力を！〉

1

【第1ステージ（ ）時間】
〈こんな学習をしてこんな力を！〉

スタート

【この単元に関わって知っていること・できること】